

ART FAIR TOKYO Press Release



アートフェア東京2015 3月20日（金）～3月22日（日）
東京国際フォーラム 地下2階 展示ホール

ファーストチョイス、オープニングプレビュー、プレスプレビューは3月19日（木）※招待状をお持ちの方のみ

1. メインビジュアルデザインについてー10回目を迎えるにあたって

2015年3月、「アートフェア東京」は記念すべき開催10回目を迎えます。

第1回目からデザインを手がけている古平正義氏は、今回のメインビジュアルにこれからの東京を俯瞰するための「窓」を大胆にデザインしました。東京オリンピック・パラリンピック開催まで5年という節目の年でもあり、このスポーツと文化の一大イベントを迎えるにあたって、改めて「東京」を見つめ直す機会であることを強く意識したデザインとなりました。さらに金、銀の2色で展開することにより、華やかな彩りを添えます。

また、SNS やメールニュースなど PR ツールとして広く活用できるよう特別記念ロゴ (右下図) も制作いたしました。



海外向けメディア広告 (横)



10回記念特別ロゴ

2. アートフェア東京2015 会場構成と出展者について

会場構成について

今年はこれまでの流れを踏襲しながら、会場右側を「ノースウィング」、左側を「サウスウィング」としました。特色ある2つのエリアで構成された会場には、国内外30都市から約140軒のギャラリーや企業・パートナーが出展します。また初出展のギャラリーが26軒と、ここ数年で最高軒数となり、10回目の節目にふさわしい顔ぶれが揃いました。



ノースウィングには日本を代表するギャラリーから海外のギャラリーまで約90軒が出展いたします。工夫を凝らした設えに年々注目が高まる古美術をはじめ、国内外の優れた近現代の美術や、美術館クラスの作品も多数出品される予定です。

また、今年はエントランス周辺に工芸や応用美術を取り扱うギャラリーを集め、他のアートフェアでは出逢うことが少ない、日本ならではの独特の技術に裏打ちされた豊かな表現をもつ作品をご覧いただけるよう会場を構成しました。



1.青木良太「王様たちのTea Bowls」arte classica by Ishiguro Gallery 2.加彩武人俑 中国 北齊時代 浦上蒼穹堂 3.抱亭五清「品川沖潮干狩図」角匠 4.小倉遊亀「花」相模屋美術店



サウスウィングには主に現代美術を中心に扱う約40軒のギャラリーが出展いたします。各ブース、企画を重視した展示を楽しむことができるエリアです。毎年注目のアーティストックプラクティス（次項目参照）は10回目を記念し展示エリアを拡大、琳派やヴェネツィア・ビエンナーレのテーマを軸に、日本独自の視点と国際的な視点の両面から日本の現代アートを俯瞰します。また人気のジュエリーもサウスウィングにて出展いたします。



1. Alona Harpaz「Sunrise」Inga Gallery 2.ザイ・クーニン「Sitting on a throne which is not there」photograph taken by Jialiang オオタフインアーツ 3. ジェフ・クーンズ「ピンクリボン」gallery A-zone 4.岩崎貴宏「Reflection Model (Before the fire)」ARATANIURANO 5.カール・フリッチ「リング」ギャラリードゥボワソン

出展者リスト

アートフェア東京2015 出展者一覧

ノースウィング

(略称)	ギャラリー名	ブースNo.	都市
A	Art Lab	N12	東京
B	Bohemian	N72	東京
	bruno massa	N22	パリ
C	Cellar	N23	東京
	Chiyoharu	N79	東京
D	Daisen	N87	大阪
E	Ecrunomori	N13	三島(静岡)
	Egizu	N83	岐阜
	Exhibition	N57	東京
F	Fuji	N20	名古屋
G	Ginza Kuroda	N32	東京
	Gyokuei	N06	東京
H	H-art	N15	東京
	Hirota	N16	東京
	Hiyohido	N24	富山
	Homage	N84	東京
I	Inouye	N43	東京
	Ishiguro	N40	東京
	Ishiguro Shouten	N41	金沢
	Itoh	N42	東京
	Itsuki	N76	東京
K	Kamiya	N10	東京
	Kanazawa	N53	金沢
	Kashima	N31	東京
	Kawata	N70	神戸
	Kashimoto	N75	東京
	Kitaoka	N85	名古屋/四日市/京都
	Kobayashi	N05	東京
	Kochukyo	N37	東京
	Kogure	N01	東京
	Komiyama	N71	東京
	Kouzome	N86	東京
	Kugo	N58	富山
	Kunimatsu	N73	京都/東京
L	Lyan	N33	東京
M	M	N59	富山
	Maesaka	N27	東京
	Maruendo	N48	東京
	Mayuyama	N29	東京
	Misuzuki	N74	岐阜
	Mitochu	N28	東京
	Miyashita	N44	東京
	Mizoe	N84	福岡/東京
	Murakoshi	N17	東京

サウスウィング

(略称)	ギャラリー名	ブースNo.	都市
A	Ando	S17	東京
	Aratanurano	S39	東京
	Atsuko	S21	東京
	A-zone	S14	岡山
C	Cooca	S22	平塚(神奈川県)
D	Der-Hornig	S26	台南
	Deux	S43	東京
E	Eugene	S27	ソウル
	H Zone	S35	ソウル
H	Hashimoto	S05	東京
	Hato	S13	東京
I	Imura	S03	京都
	Incurve	S11	京都
	Inga	S36	テルアビブ
	Inoue	S04	大阪
	Ishii	S38	東京
K	Koide	S20	東京/オーストラリア
	Koyama	S06	東京/シンガポール
M	Mack	S37	東京
	Mizuma	S02	東京/シンガポール
	Monma	S33	札幌
N	Nagasawa	S25	東京
	Nagoya	S16	名古屋

企業・パートナー

企業・パートナー名
ドイツ銀行グループ
アマナサルト株式会社
DOMANI・明日展 plus

(略称)	ギャラリー名	ブースNo.	都市
N	Nakacho	N50	東京
	Nanaya	N36	東京
	Nca	N03	東京
	Nichido	N04	東京/名古屋/福岡/軽井沢/パリ
	Nukaga	N81	東京
O	Olym	N96	東京
S	Sagamiya	N52	東京
	Saitama	N08	川口(埼玉)
	Sankeido	N82	東京
	Seizan	N09	東京
	Shibuya Kuroda	N39	東京
	Shihodo	N80	東京/大阪
	Shinseido	N85	東京/ベルリン
	Shukado	N63	東京
	Shunpudo	N62	東京
	Shunsei	N51	東京
	Sokyo	N55	京都
	St. Ives	N34	東京
	Stephanie	N21	マニラ
	Suchi	N78	東京
	Sumisho	N30	東京
	Suzuki	N69	東京
T	t	N56	東京
	Taigado	N64	京都
	Taimel	N18	東京
	Taiyo	N68	大阪
	Tamenaga	N07	東京/パリ/大阪
	Tannaka	N25	大阪
	Tazu	N67	京都/名古屋
	Togetsu	N45	東京
	Toho	N77	東京
	Tolman	N46	東京/香港/ニューヨーク/ロンドン
	Tomura	N14	東京
	Toyama	N60	富山
U	Uragami	N35	東京
V	Voice	N54	多治見(岐阜)
W	Watanabe	N38	東京
X	X	N11	東京
Y	Yamashita	N02	東京
	Yanagase	N47	岐阜
	Yayoi	N19	東京
Z	Zokkyudo	N49	京都
	Naruyama	S30	東京
	New Pearl	S44	東京
	Noda	S01	名古屋
O	Ota	S40	東京/シンガポール
S	Scal	S09	東京
	Shoichiro	S12	東京
	Shugo	S28	東京
	Side 2	S29	東京
	Side Core	S31	東京
	Soh	S08	東京
	Somemiya	S34	東京
	Someya	S23	東京
	Sou	S42	札幌
T	Taki	S10	名古屋/東京
	Talton	S41	東京
	Toki-no	S15	東京
	Tokyo	S07	東京/北京
W	waitingroom	S32	東京
Y	Yamaki	S07	神戸
	Yamamoto	S39	東京
	Yiri	S19	台北
	Yoshimi	S24	大阪
Z	Zero	S18	北京

2015年1月22日現在

3. 特別企画 Artistic Practices (アーティスティックプラクティス)



「いつの時代にも、どんなジャンルにも、芸術的実験がある」をコンセプトに、美術を軸に日本のクリエイティビティを横断し、優れた作品やプロジェクトを2011年より紹介している企画展示セクション「アーティスティックプラクティス」では、これまで古美術と現代アートのコラボレーションや日本の近代絵画の歴史を辿る展示など、さまざまな切り口で日本の美術を紹介してきました。今回は世界的に最も影響力があると言われている国際展「ヴェネツィア・ビエンナーレ」と、今年で誕生から400年を迎える「琳派」をテーマとした24名の日本人作家による特別展示を行い、日本の現代アートを多角的に紹介します。

協賛＝株式会社モリモト

A：琳派はポップ / ポップは琳派

現代アートがグローバル化する中、改めて日本独自の美術表現を見直し、より歴史的な文脈で日本の美術を再考する取り組みが多く見られるようになりました。今年で誕生から400年を迎える琳派は、俵屋宗達と本阿弥光悦に始まり尾形光琳らによって発展を遂げ日本国内だけに留まらず、近代においては印象派、現代に至っては美術だけでなくデザインにまで大きな影響を与えています。本セクションでは、その時代をも越えた琳派のもつポップ性を切り口に、現代日本の多様な表現の中から、9名の作家による軽やかで鮮やかな作品を紹介します。

参加作家＝金氏徹平／コシノジュンコ／しりあがり寿／染谷聡／中島克子／蜷川実花／山口藍／山本太郎／矢柳剛 (50音順・9名)

協力ギャラリー＝イムラアートギャラリー／多治見市文化工房 ガalleryヴォイス／小山登美夫ギャラリー／シュウゴアーツ／東京画廊+BTAP／NODA CONTEMPORARY／ミヅマアートギャラリー (50音順)

関連展示予定作家(周辺ブース展示)＝ロバート・クシュナー (Yoshiaki Inoue Gallery)



1



2

1.山本太郎「紅白紅白梅図屏風」©Taro YAMAMOTO courtesy of imura art gallery 2.中島克子「ハレのうつわ」撮影：林達雄 多治見市文化工房 ガalleryヴォイス



3



4



5



6

3.コシノジュンコ+矢柳剛「天空龍海」Courtesy of the artists and Tokyo Gallery+BTAP 4.染谷聡「むすび / 石」©Satoshi SOMEYA courtesy of imura art gallery photo: Rui Mizuki 5.金氏徹平「Ghost in the Liquid Room (lenticular) #8」copyright the artist courtesy ShugoArts 6.山口藍「ことど」撮影：市川靖史 ©ai yamaguchi・ninyu works Courtesy SPIRAL / Wacoal Art Center, Mizuma Art Gallery

B：ヴェネツィアがみた日本の現代アート

1895年からイタリアで開催され、世界的に最も影響力があると言われている^(注)「ヴェネツィア・ビエンナーレ」。この国際展には、これまでに多くの日本人作家が出展し、2013年には田中功起氏が特別表彰を受賞するなど、日本の現代アートが国際的に高く評価される場にもなっています。本セクションではグローバルな視点から日本の現代アートを俯瞰する企画として、ヴェネツィア・ビエンナーレに参加実績のあるアーティストの中から「多様性の中の現在」と「もの派から辿る20世紀」の2つのテーマを軸に15名の日本人作家の作品を紹介します。

注：アート情報サイトartnet調査「世界の国際展TOP20」にて第1位（於：2014年5月）

B-1：多様性の中の現在

森村泰昌氏、宮島達男氏が若手グループ展「アペルト」部門に作品を出展した1988年から、塩田千春氏が日本館に出展する今年までの間にヴェネツィア・ビエンナーレに参加した作家8名の作品を展示する予定です。

参加作家＝塩田千春／束芋／宮島達男／森万里子／森村泰昌／米田知子（50音順・6名）

協力ギャラリー＝ギャラリー小柳／ケンジタキギャラリー／シュウゴアーツ／SCAI THE BATHHOUSE（50音順）

関連展示予定作家（周辺ブース展示）＝田中功起（青山 | 目黒）／土屋信子（SCAI THE BATHHOUSE）



1. 森村泰昌「セルフポートレート/ 白いマリリン」copyright the artist courtesy ShugoArts 2. 森万里子「Renew IV」Courtesy of SCAI THE BATHHOUSE 3. 米田知子「マーラーの眼鏡ー交響曲（未完成）第10番の楽譜を見る」copyright the artist courtesy ShugoArts 4. 塩田千春「Zustand des Seins (Kinderkleid) / State of Being (Children's Dress)」©Chiharu Shiota photo by Tetsuo Ito Courtesy of KENJI TAKI GALLERY

B-2：「もの派」から辿る20世紀

本セクションでは現在世界的にも注目を集めている「もの派」の作品が紹介された1970年以降から、2000年までの間にヴェネツィア・ビエンナーレの日本館で紹介された日本の作家の作品を展示します。

参加作家＝遠藤利克／小清水漸／菅木志雄／戸谷成雄／村岡三郎（50音順・5名）

協力ギャラリー＝ケンジタキギャラリー／小山登美夫ギャラリー／シュウゴアーツ／SCAI THE BATHHOUSE／東京画廊+BTAP／ギャラリーヤマキファインアート（50音順）

関連展示予定作家（周辺ブース展示）＝関根伸夫、菅木志雄（双ギャラリー）／若林奮（ケンジタキギャラリー）



1. 菅木志雄「離空」©Kishio Suga photo by Yoshitaka Uchida Courtesy of Tomio Koyama Gallery 2. 小清水漸「赤と木 5」Courtesy of the artist and Tokyo Gallery+BTAP 3. 戸谷成雄「射影柱」copyright the artist courtesy ShugoArts 4. 遠藤利克「空洞説一沈む舟」撮影：長塚秀人 SCAI THE BATHHOUSE

4. 注目の企業・パートナーブースのご紹介

アマナサルト株式会社

アマナサルトのブースでは、建築家・安藤忠雄の『ANDO × ANDO – Photographs』を発表します。これは「光の教会」や「水の教会」といった代表的な建築作品を安藤氏自身が撮り下ろした初の写真作品を、プラチナプリント技法で制作した10点が収録されたポートフォリオ集です。安藤氏が「ただ光に希望を託して、もっとも単純で、もっとも豊潤な意味を持つ空間を追い求めてきた、私のむきだしの思考の軌跡がそこにある」と語る通り、ANDO建築の原点とその普遍性が表現されています。アートフェア東京2015では、本作の日本初披露に加え、昨年発表されたポートフォリオ集第1弾『ANDO BOX – Drawings』も同時に展示される貴重な機会です。



©amanasalto



17th DOMANI・明日展 plus

文化庁が昭和42年から実施している「芸術家在外研修（現・新進芸術家海外研究制度）」は将来の日本の芸術界を支える若手アーティストを多数海外に派遣しています。その研修成果の発表の場として「DOMANI・明日」展がこれまでに16回開催されています。アートフェア東京2015ではこの研修制度を多くの方に知っていただくため、清野耕一氏（版画、インスタレーション）、蛭名優子氏（絵画、ブックアート）、手銭吾郎氏（工芸、鍛金）の3名のアーティストの作品を展示します。海外研修をした作家がいかに関心を持って活動しているかをブースにてご紹介いたします。



清野耕一「Cultivation (培養体) II」



蛭名優子「天気輪の向こうへ」



手銭吾郎「たたずむ」撮影:丸子成明

5. 関連イベント ※詳細は次号プレスリリースにてお知らせします。

- 【トーク】 アートフェア東京2015会期中は多数のトークイベントを予定しております。
- 【イベント】 丸の内エリアではコラボレーティブパートナーのAMIT (Art, Media and I, Tokyo) 2015の企画による真鍋大渡氏 (Rhizomatiks)、和田永氏、力石咲氏、他の新作展示を予定しています。
- 【パーティー】 3月19日 (木) ベーコンプライズ 会場：ザ・ペニンシュラホテル東京
3月21日 (土) CAMPARI presents Park Night 2015: Meteorites 会場：パークホテル東京

※詳細は次号プレスリリースにてお知らせします。

日現在

【名称】アートフェア東京2015（英語表記：ART FAIR TOKYO 2015）

【主催】アートフェア東京実行委員会

【運営】アートフェア東京実行委員会 事務局（aTOKYO株式会社）

【開催日程】 ファーストチョイス 3月19日（木） 16:00-18:00
 オープニングプレビュー 18:00-21:00
 プレスプレビュー 16:00-21:00
 一般会期 3月20日（金） 11:00-21:00
 3月21日（土） 11:00-20:00
 3月22日（日） 10:30-17:00

※全日入場は終了30分前まで

※ファーストチョイス及びオープニング/プレスプレビューはご招待状をお持ちの方のみ

【会場】東京国際フォーラム 地下2階 展示ホール

【出展数】計132軒（協力ギャラリー、企業、メディア関連を除く）

【出展地域】計30都市（支店含む）

国内17都市：東京/大阪/京都/名古屋/福岡/札幌/神戸/金沢/富山/川口/岐阜/三島/多治見/岡山/
四日市/軽井沢/平塚海外13都市：北京/台北/台南/香港/ソウル/マニラ/ロンドン/パリ/ベルリン/テルアビブ/ニューヨーク/
シンガポール/オークランド

【出品内容】古美術、工芸、日本画、近代絵画、彫刻、現代美術、写真、版画、映像作品などの展示販売

【後援】外務省/文化庁/日本赤十字社

ベルギー王国大使館/ブラジル大使館/ブリティッシュ・カウンシル/在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ
日本/ドイツ連邦共和国大使館/ハンガリー大使館/イスラエル大使館/イタリア文化会館/駐日韓国大使館 韓国文化
院/オランダ王国大使館/フィリピン共和国大使館/スペイン大使館/スイス大使館/アメリカ合衆国大使館/多治見市
/富山市/公益財団法人 金沢芸術創造財団 ※申請中含む【スポンサー】ドイツ銀行グループ/株式会社モリモト/アマナサルト株式会社/サントリースピリッツ株式会社/
コイニー株式会社【コラボレーティブパートナー】DOMANI・明日展 plus/メルセデス・ベンツ ファッション・ウィーク 東京/
AMIT (Art, Media and I, Tokyo) 2015/京都国際映画祭

【エデュケーショナル・パートナー】特定非営利法人アーツイニシアティブトウキョウ [AIT/エイト]

【メインメディアパートナー】日本経済新聞 電子版

【メインパートナーホテル】パークホテル東京

【パートナーエアライン】全日本空輸株式会社

【特別協力】出光美術館/サントリー美術館/東京都現代美術館/戸栗美術館/ポーラ美術館/三菱一号館美術館/森美術館/
横浜美術館（50音順）【協力】メルセデス・ベンツ日本株式会社/フェンディ ジャパン/三菱地所株式会社/朝日酒造株式会社/株式会社 竹尾/
アークヒルズクラブ/六本木ヒルズクラブ/株式会社アルファコーポレーション/PAP-design/一時画伯/A.R.T.【パートナーホテル】ザ・ペニンシュラ東京/庭のホテル東京/ザ・キャピトルホテル東急/帝国ホテル東京/
グランドハイアット東京/新橋愛宕山東急イン/ホテル S

【入場料】1-DAYパスポート 2000円/3-DAYパスポート 3500円

【前売チケット】1-DAYパスポート 1500円/3-DAYパスポート 3000円（各税込）

※発売期間 1月26日（月）～3月19日（木）

チケットぴあ Pコード: 766-604

イープラス 1-DAYパスポート: <http://eplus.jp/artfairtokyo/> 3-DAYパスポート: <http://eplus.jp/artfairtokyo3day>

ローソンチケット Lコード: 37125

セブンドリーム セブンコード: 034-939

iJTB JTB商品番号 1-DAYパスポート: 0239003/3-DAYパスポート: 0239004

※入場料収入の一部を日本赤十字社に寄付します。

※諸般の事情により、掲載作品と展示内容が予告なく変更される場合があります。

お問い合わせ

アートフェア東京実行委員会 広報 市川（いちかわ）/那波（なわ）/五十嵐（いからし）

東京都台東区根岸3-8-8-4F

Tel: 03-5808-1451

press@artfairtokyo.com

<http://artfairtokyo.com>